

澄み切った秋空が清々しい季節になり、できることなら思い切りスポーツをしたり、コンサートに行ったり、美味しいものを食べに外食や旅行に行ったりとしたい所ですが、コロナ渦ではなかなかそうもいきませんね。

2019年に新型コロナウイルスが発見されてから、早2年。早く収まって欲しいと願うばかりです。

しかし、そんな中でも秋にはお家の中でゆったりと楽しめることがたくさん。読書をしたり、絵を描いたり読書の秋、芸術の秋を楽しむことができます。また、紅葉を見にお散歩やドライブをしたりするのもいいですね。

今月も季節を楽しみながら、安全に過ごしたい下さい。

自然たっぷりおもしろお顔〜自然で楽しむお絵かき遊び〜

●材料

- どんぐりやまつぼっくりなど、自然物たくさん
- 色画用紙
- 毛糸(なくてもOK)
- 木工用ボンド

- どんぐりやまつぼっくり、小枝などを拾う。
- 色画用紙に、輪郭を形取った毛糸をボンドで貼り付ける。
1 好きな場所にボンドで貼り、顔になったらできあがり!



ぐるぐる巻きミイラのお面〜ソクソクしちゃう製作遊び〜

●材料

- ボール紙
- トイレットペーパー
- 輪ゴム
- はさみ
- カッター
- ペン
- 穴あけパンチ

- ボール紙の裏を上にして、半分に折る。顔半分をペンで描き、線に沿ってハサミで切り取ったら、さらに鼻と口と目を切り取る
- ボール紙の白い方を上にして置き、三つ折したトイレットペーパーを顔の方から巻いていく。
- トイレットペーパーは、途中折り曲げたり、何度か切って巻き出すなど、巻き方に変化をつけながら顔の下まで巻くのがポイント!
- 左右の目の位置に穴あけパンチで穴をあけ、それぞれ穴に輪ゴムをくわけてからできあがり!

〜HAPPY HALLOWEEN!〜

子どもの地頭力は鍛えられる！具体的な方法と「地頭がいい」子どもの特徴

地頭力とは？

地頭力がある＝頭がいい

地頭力とは、問題解決のために自分の持っている知識や情報を組み立てていく力のことです。論理的な思考法ともいえます。簡単にいうと、「自分の頭で考える力」です。「地頭がいい」という言葉はよく使われますよね。「地頭力がある」というのは、それと同じ意味。昔から人間の中にある能力で、勉強によって培われるものではないのです。

成績の良さは違うもの

「地頭力がある」は、「頭がいい」「テストの点数が高い」と必ずしもイコールにはなりません。答えにたどり着こうとするまでの過程で発揮されるのが地頭力です。子どもの場合はまだ知識や情報が少ないため、それが点数や成績に反映されないこともあるでしょう。もちろん、成績が良くて地頭力もある子どももいます。地頭力は、はっきりと数字で表せない能力なのです。

地頭力のある子どもの特徴

好奇心旺盛で観察力が高い

「なんで?」「どうして?」が多いお子さまもいますよね。このように、いろんなことに興味を持って、周りをよく見ていたりする子どもは、地頭力があるといえます。好奇心や観察力があること、「なぜ?」と疑問を持ち、考えるきっかけになります。仮説を立て、結論を導き出し、また考える…。その頻度が高ければ、それだけ地頭力が鍛えられているということです。

相手の気持ちを理解できる

相手の気持ちや意見を「なるほど」「そうなんだね」と受け入れられる子ども、地頭力があるといえます。反対に、ある程度年齢が上がっていても、周りの意見を無視して自我を押し通そうとする子どもは、地頭力が弱いのかもかもしれません。地頭力があると、さまざまな方向や立場から物事を考えられます。そのため、自分と違う意見でも「そういう考えもあるのか」と受け入れることができるのです。

表現力が豊か

地頭力があると、表現力が豊かになることもあります。面白い発想や言葉、柔軟な考え方をしているため、それが表現の場でも活かせるのです。もちろん、地頭力がなくても表現力は発揮できるものなので、一概にはいえません。ただ、「センスがある」「技術がある」の他に、「地頭力がある」という可能性を考えてみるのもよいのかもかもしれません。

イレギュラーな状況に強い

いつもと違う場面やトラブルに強い子ども、地頭力があるといえます。決まったパターンや公式に当てはめなくても、その場の状況に応じて自分の頭で考え解決できるからです。応用問題に強い子ども、公式を覚えていない段階でも答えを導き出せる子ども、地頭力があるといえます。反対に、基礎はすぐ覚えられるのに応用になるとつまずく子どもは、地頭力が弱いのかもかもしれません。

全部説明しなくても理解できる

地頭力があると、少ない情報からその先を推測できます。1つ言えば、3つのことをしてくれようというタイプです。子どもの場合は、知識や情報がまだ少ないため難しいことかもしれませんが、経験したことがあればその力が発揮できるはずですよ。たとえば、「洗濯物を取り込んでくれる?」とお願ひしただけで、畳んで片付けまでできてしまうようなお子さまは、地頭力がある可能性があります。

地頭力はどんなときに役立つ?

壁にぶつかったときにも乗り越えられる

地頭力は、勉強だけでなく生活全般で役に立ちます。反らちとケンカをしたとき、部活や習い事で成果が出なくなったとき、受験や就活などで力を出したいときなど、さまざまな場面で発揮されるものです。「ダメだ」「できない」と投げ出さず、どうにかして解決しようと考えられるのが地頭力です。うまくいかなかったとしても、考えた過程が次に活かされています。

コミュニケーションが円滑になる

相手の意見や気持ちを理解できるため、コミュニケーションが円滑になります。自己主張は大事ですが、それが間違っているときもあるはず。地頭力があれば論理的に物事を考えられるため、いろんな人の意見を取り入れ、情報をまとめていくことができます。反らちや家族との関わりだけでなく、学校での話し合いや、社会に出た後の会議などでも役に立ちます。

これからの社会を生き抜く力になる

ただ、マニュアル通り行動するよりも、新しい発想や論理的な思考を求められることが多くなっていくと思われれます。そのために必要なのは、頭の良さではなく地頭力です。地頭力があれば、仕事や生活で自分らしく活躍できる可能性があります。

地頭力を鍛える方法①

子どもの「やりたい!」を尊重する

まずは、子どもの好奇心を否定せず、好きなことや興味のあることをとことんやらせてあげましょう。「ダメ」「こっちしよう」など、親の価値観を押し付けてしまうと、子どもの思考力や表現力が育ちにくくなります。これは、わがまますべて聞いてあげるということはありません。「そういう考えもあるんだね」「そういう気持ちなんだね」と、理解してあげるということです。

子どもに選ばせて決めさせる

「選ぶ」「決める」という行動には、「考える」が詰まっています。ですから、日常の中で子どもが選べる機会をたくさん作ってあげてください。経験が少なく決められないお子さまには、「AとBどちらにする?」と選択肢を提示してもOK。小さなことでもよいですから、選んで決める経験をたくさんさせてあげましょう。

すぐに答えを出さずに一緒に考える

子どもが「どうして?」「なんで?」とってきたときには、すぐに答えを出さずに一緒に考えてみましょう。「どうしてかな?」「あなたはもうどう思う?」と質問返しをしてみるのもよいでしょう。子どもの考えや答えが違っていても問題ありません。それよりも、考えた過程が大事です。「わからない」というお子さまには、少しずつヒントをあげたり、「ママ・パパはこう思うけど、あなたは?」と自分の考えを先に伝えてあげたりするとよいでしょう。

結果よりも過程を大事にしてあげる

地頭力がある子どもは、公式を使わずに問題が解けたり、教科書通りではない方法で答えを導き出したりします。その結果、成績に反映されないこともあるでしょう。テスト以外の場面でも、正しい答えにたどり着かない場合もあります。地頭力を鍛えるうえで大切なのは、考えることです。子どもの頭は、知識や情報が少なく、まだ力を発揮しきれないことも多々あるでしょう。ただ、経験をたくさん積み重ねることでその精度は上がっていくはずですよ。まずは過程を大事にし、「この考えは面白いね」「こういうやり方もあるよ」と認めてあげてください。

いろんな体験をさせてあげる

遊びや生活での経験は、子どもの知的な好奇心を刺激します。嫌がることを無理矢理やらせるのはNGですが、子どもが楽しめるものならどんな体験させてあげてください。親目線で見ると、危ないことや汚れること、難しいことは避けたいかもしれませんが、そういった経験の中からこそ学べるものもたくさんあります。大きな失敗や事故には気を付けながら、家の中でも外でも、さまざまな経験をさせていきましょう。

<ベネッセ教育情報サイト>

今月の絵本



ここは、おばけマンション。住んでいるのは、入れ歯のドラキュラ、ほうだいがないミイラ男、ぼろぼろになったがいこつなど、ちょっと間抜けなおばけたち。そこに2人の子どもの来て魔女の家を訪ねると。。。。人気のパネルシアターが絵本になりました。ユーモラスなおばけの話なので、小さいお子様でも楽しめます。村上康成先生のオシャレで可愛いイラストが素敵です。ハロウィンが近くなったら、ぜひお子さんと一緒に読んでみてください!



さっちゃん、ドングリのお馬さんに乗ってやってきたのは、なんとも不思議な「おちばいちな」。木の葉でつくったごちそうや、おちばのスカート、ずらりとならんだおちばの魚など、さっちゃんにはぎやかな市場を大満喫。するとそこへあらわれたのは、大きなキツネ! はっぱを頭にのせる。。。。秋の季節を感じられる一冊です。

コロナに負けない!

厚生労働省のHPまたは沖縄県公式HPから新型コロナウイルス感染症の検疫アプリ(COCOA)がダウンロードできます!ぜひご利用下さい!!

またHP等では随時新型コロナウイルス感染症に関する情報も更新しております。